2024年度NEDO再生可能エネルギー部成果報告会 プログラム No.10

木質バイオマス燃料等の安定的・効率的な供給・利用システム構築支援事業 新たな燃料ポテンシャル(早生樹等)を開拓・利用可能とする"エネルギーの森"実証事業

~ J F E の森 NEXTGATE~

発表日: 2024年12月17日

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

発表者名 浜名 康彰

団体名 JFEエンジニアリング㈱ 電力ビジネス事業部 発電事業推進部

問い合わせ先 E-mail: hamana-yasuaki@jfe-eng.co.jp TEL:080-2356-7485

事業概要



1. 目的

北海道由仁町内で早生樹(クリーンラーチ、オノエヤナギ)を用いた エネルギーの森を創生すること。

2. 期間

2023年10月 ~ 2028年3月(5ヵ年)

- 3. 最終目標
 - ① 亜寒帯(北部)における早生樹(クリーンラーチ、オノエヤナギ)の 大規模植林技術の開発
 - ②早生樹のバイオマス燃料としての活用検討、及び燃料化のコスト削減手法の開発
 - ③デジタル計測による既存森林の実態把握及び施業計画の簡易化(2023年度完了)
- 4. 成果・進捗概要
 - 1)クリーンラーチの苗本数確保、伐採・植林配置計画完了(植苗は2025年5月、4,650株)
 - 2)オノエヤナギの植苗(第1回)を実施完了(2024年11月完了、0.9ha/11,500株)

1. クリーンラーチ・オノエヤナギの紹介

クリーンラーチ

- ①成長速度
 - スギ・ヒノキの標準伐期齢は50年 クリーンラーチは**25**年
- ②環境性

カラマツに比べ、CO2を2割程度多く吸収 (温暖化防止に貢献)





オノエヤナギ

- ①寒冷地でも初期成長が早い
 - 落葉広葉樹林の10~15倍
- ②短伐期(3年)で繰り返し収穫可能(萌芽更新により1株で7回収穫可能)

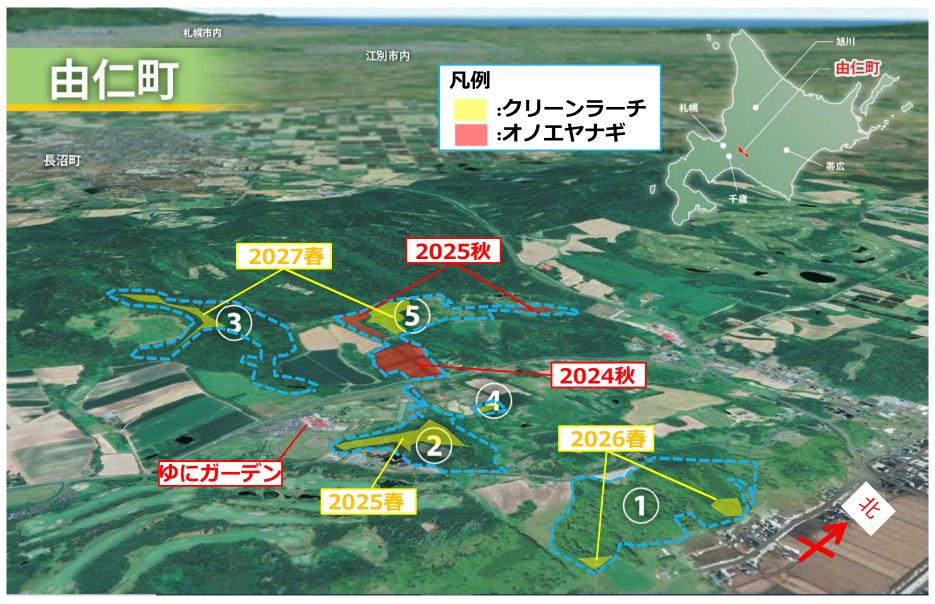






オノエヤナギ栽培

2. "エネルギーの森"実証事業予定地

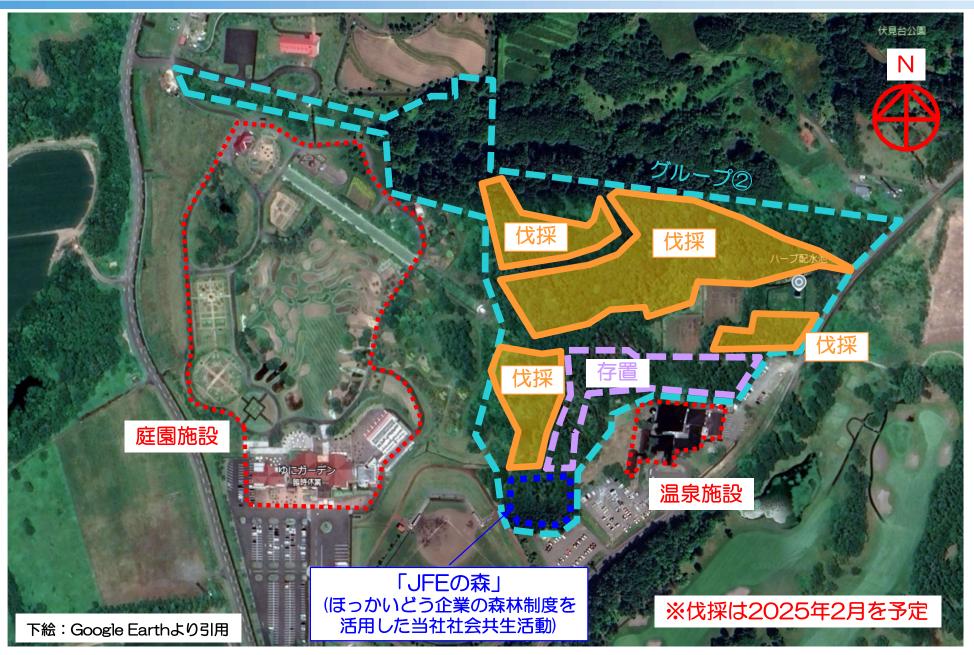


※現在までの成果・・・グループ②:クリーンラーチの植林配置計画

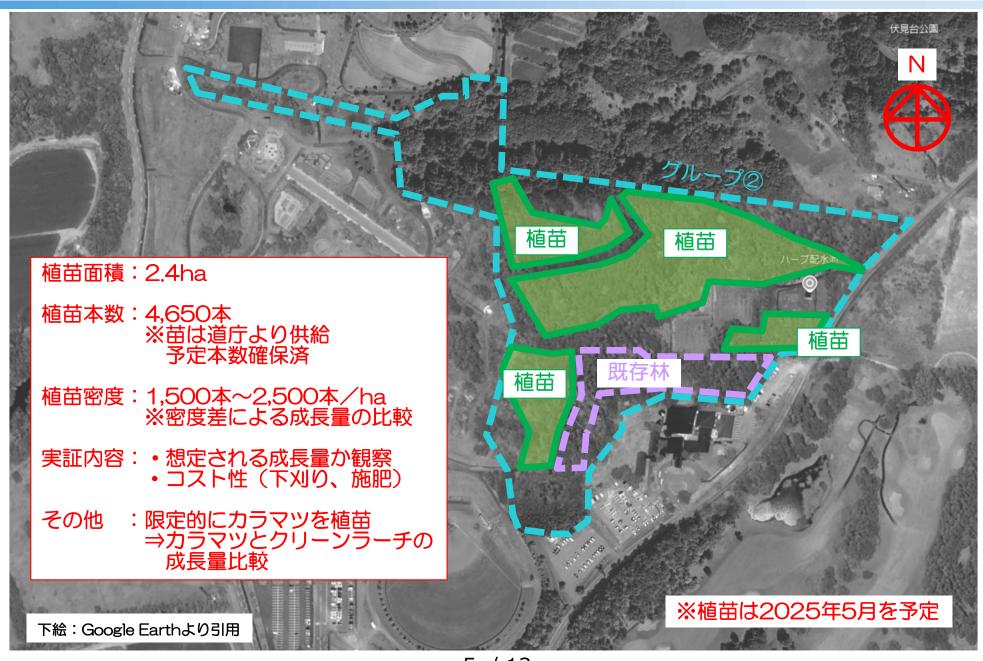
グループ⑤: オノエヤナギの植苗完了

3-1<24年度の成果>

グループ②:現地調査&伐採計画の策定



3-1<24年度の成果> グループ②:クリーンラーチ植苗計画の策定



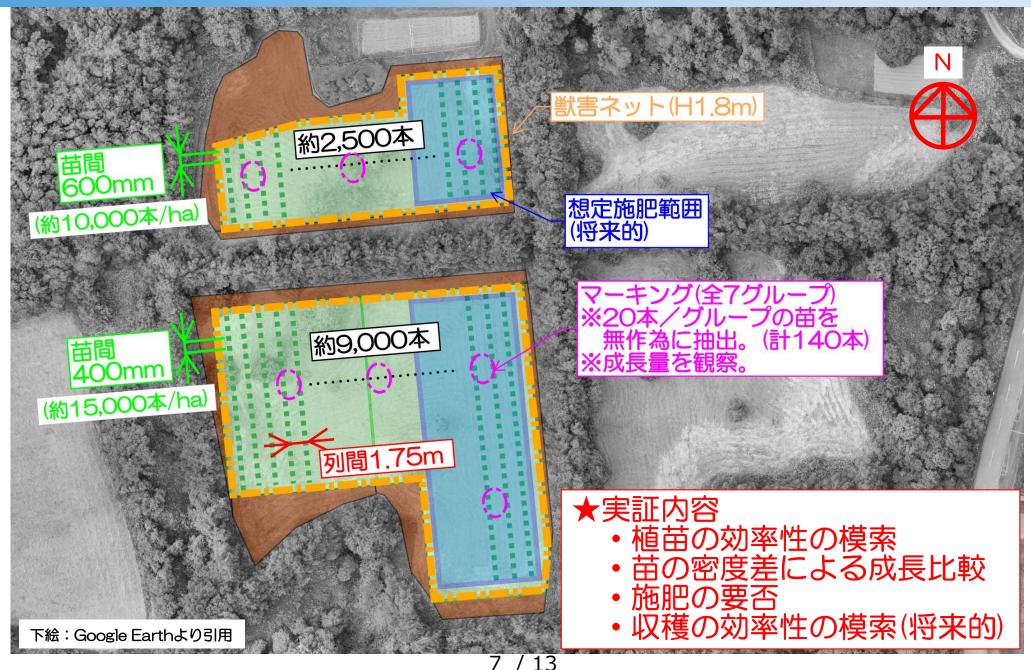
3-2<24年度の成果> グループ⑤:オノエヤナギ準備工(伐採等)



- ●草刈り2回実施(6月・10月) 6月・・・約1mの時点で実施(重機で草刈り可能) 10月・・・植苗前に実施
- ▶伐採・伐根・・・植苗前に実施



3-2<24年度の成果> グループ⑤:オノエヤナギ植苗計画の策定



7 / 13

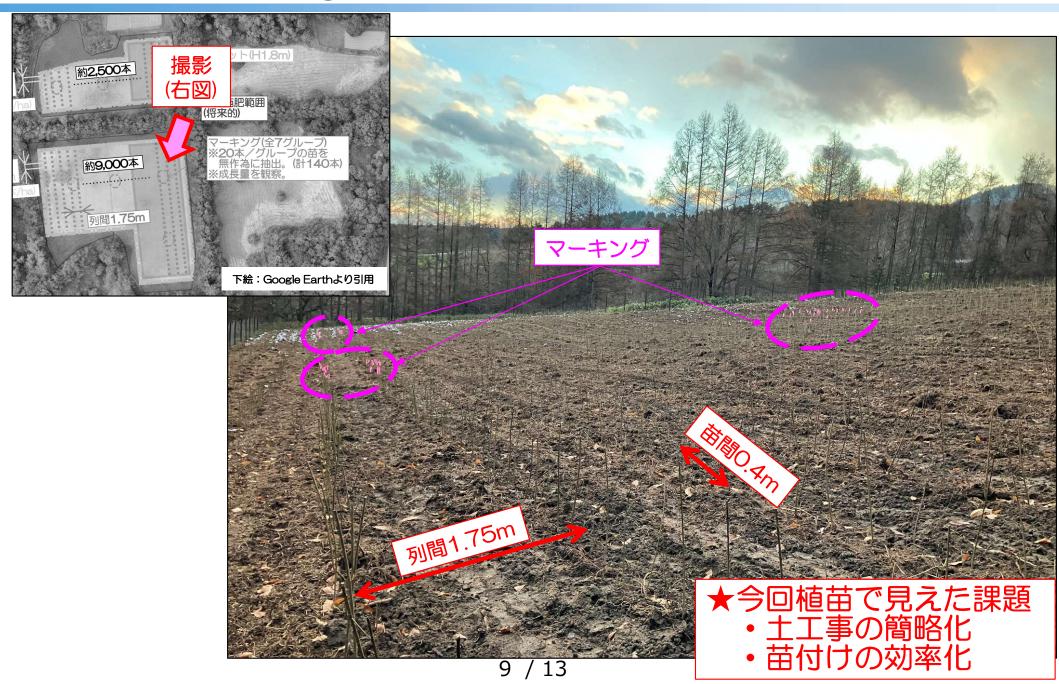
3-2<24年度の成果>

グループ⑤:植苗の実施(施業状況)



3-2<24年度の成果>

グループ⑤:植苗の実施(施業完了時)



4. 今後の予定

開発項目	2023	2024	2025	2026	2027
①大規模植林	現地調査 伐採植林計画	既存林伐採	保育	(下刈り・枝打	(ち)
②コスト削減	【クリー)	ンラーチ】	下刈り効	率化(機械地	拵え)
	【オノエ	・ ヤナギ 】	植苗効率化下刈り・カ	拖肥効率化	農機伐採 検討
③デジタル データ活用	"mapry林業 ● 既存森林の		早	生樹の材積測	定

5. まとめ

(1)2024年の成果

- グループ②: 伐採計画/クリーンラーチ植苗計画完了 クリーンラーチ苗: 計画本数入手確定 (※施業は2025年2月~)
- ・グループ⑤:オノエヤナギ植苗完了(2024年11月)

(2)次年度以降の課題

- 育林作業内容の検討…下刈り、施肥の要否
- ・オノエヤナギの植苗効率化
- ・コスト整理 (バイオマス燃料目標コストの実現に向けての課題抽出)

【参考】"エネルギーの森"実証事業 協定締結

植林活動を発展させ、『ゼロカーボンシティ』に繋がる意義のある取組み ⇒2024年5月『"エネルギーの森"実証事業に関する協定』を締結



写真左)当社社長 福田 一美 写真右)由仁町長 松村 諭様



由仁町、JFEエンジ、御来賓の方々と記念撮影

北海道由仁町伏見台展望台からの眺望

